京都帝國大學新聞
帝國大學新聞　京都
月二回　五日・二十日發行
購讀料　一部五錢（郵税五厘）　一年一圓（郵税とも）
廣告料　一行につき金五十錢（記事中は此二倍）　掲載ページを指定するときは二割増とす
發行人　編輯人　印刷人　山入雄一

代議員きまる
全有權者のうち投票二割四分
棄權七割六分

學友會を見まもるものに一脈の不安を投げかけながら、來る昭和九年度の代議員選擧が十一月廿一日、廿二日にわたつて行はれ、各學部二名宛の開票委員は開票委員長大野教授と共に委員會を開いて開票に關する十ヶ條の議決をなし、微細を整へて廿二日午後五時から開票に着手したが其の結果は……？

本年度の委員を通じての有權者（學友會員たるの資格を有する者）三千五百名に對し投票者總計八百四十名と言ふ始末で、相變らず學友會に對する關心無關心の話題を又へてゐるのではなからうかと思はしめた、これを學部別に話記すれば

法　有權者　一〇二二名　投票者　二八四名
當選者四七票林吉男（七瀬有志）
三〇票　中西　清（共濟部）
三一票　村田　秀雄（劍道部）
二八票　無訪　俊歳（柔道部）
二六票　中川　敏雄（柔道部）
二三票　松本　政雄（陸上部）
二二票　宮島　壽彰（射擊部）
一七票　松浦伊三郎（短艇部）
一六票　藤田　秀八（野球部）
一六票　横田　一郎（ラグビ一部）
一〇票　田中　政雄（庭球部）
次點九票　中山　淳（水泳部）
八票　笠木　三郎（ホツケ一部）
無効　四票

醫　有權者　四一二名　投票者　六三名
當選者一六票吉井正消（ラグビー）
一六票　中島　潤（劍道部）
一五票　藤村　勝（弓道部）
八票　佐伯　孫一（ボート部）
八票　坂口　正一（排球部）
無効　ナシ

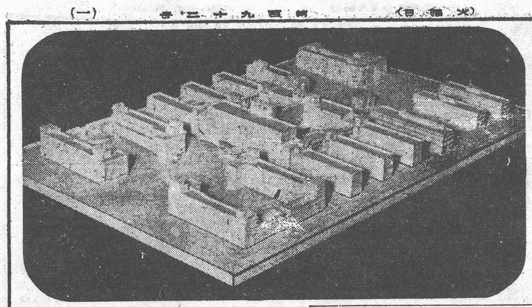
工　有權者　四九四名　投票者　一四〇名

文
二七票　吉本　一男（音樂部）
二三票　天野　宗明（ラグビ一部）
二〇票　大平　章重（新聞部）
一二票　上原　哲雄（柔道部）
八票　藤本　篤郎（陸上部）
次點六票　米井　正敏（庭球部）
四票　松波　知彦（共濟部）
無効　八票
有權者　五五七名　投票者　八二名
當選者一八票　掘川直義（個人）
一五票　新谷賢太郎（馬術部）
一〇票　金澤　宏（サツカ一部）
一〇票　内田　昌一（ラグビ一部）
九票　田中　除（新聞部）
八票　安藤　四郎（陸上部）
六票　田口　健二（劍道部）
次點四票松本不二夫（ホツケ一部）
二票　藤澤　眸（弓道部）

理　有權者　二五九名　投票者　七四名
當選者一九票　武石德治（個人）
一七票　對馬　三郎（排球部）
一四票　矢木　次郎（卓球部）
一四票　藤野　寂（射擊部）
八票　加根魯三雄（ホツケ一部）
次點二票　田邊　貞雄（庭球部）
無効　ナシ

經　有權者　五一八名　投票者　一〇九名
當選者二六票小川廣己（馬術部）
二三票　白石　勝（陸上部）
一五票　吉住敏次郎（排球部）
一三票　松岡　千明（水泳部）
一二票　村松堅一郎（ラグビ一部）
九票　植木
八票　中野　忠夫（サツカ一部）
無効　三票

農　有權者　一二三八名　投票者　八八名
當選者一六票多屋嘉夫（水泳部）
一五票　石田　勝（籠球部）
一四票　小野寺幸之進（旅行部）
一二票　西岡　榮（短艇部）
次點一二票早川勉（共濟部）
七票　上野　勝美（卓球部）
無効　一票



設備の完成へ！
之が傳統の方針
併し創立時代とは隔世の感
橋本農學部長は語る

橋本教授が農學部長に就任したことは既報の通りであるが、教授を研究室に訪れると左の如く語つた

學部長と云つたところで選擧に依つてきまるのだし、仕事は教授會で決定するのだから、別に新しい抱負とか方針とか云ふものが此際あるわけではない、然しながら農……

醫院建築の設計成る
來年度は内科着手
目下内部設備と造園計畫中

氣持を入れ替へて
學園更生のために
有信會の復舊運動

試驗日割
工學部共通科目

工學部第二期共通科目試驗日割は左の如く發表された

▽經濟學大要十八日……二時共同第一教室▽……

讀史會大會
今年度の收穫を省みて
九日樂友會館で開催

金曜講演で
帝展批評
講師は美學の
植田壽藏教授

學生は滿蒙に
關心を持て！

學生に對しては向後滿蒙との交渉が密切になつて來るが、滿蒙における事業は第一に農林畜産業であるから、學生もその方に關心を持つことを希望する、また卒業後もその方で活動出來る樣にしてもらひたい

日本精神講座
で西田教授講演

京都府教育會主催で、來る二十六日から二十九日までの四日間、川端丸太町上る教育會館において日本精神講座が開催されるが、本學文學部西田教授は「日本文化と日本精神」なる題目で、廿六日午後二時間餘りにわたつて講演するが

工學部廿二日九—十二時土木教室▽工場建築法廿二日十時半—十二時共同第二教室▽構造強弱學廿三日（土）九—十二時共同第二教室▽材料強弱學廿三日九—十二時共同第一教室▽無機工業化學大要第三部廿三日十—十二時工化教室

帝展鑑賞
＝文學部＝

學友會では左記により帝國美術館に開催中の帝展鑑賞を行ふことになつた
▽日時　一日（土）五日（火）九日（土）各日午後一時
▽集合場所　帝展會場入口
▽入場分　拾錢（文學部學友會費未納者は二十錢）
▽希望者は前日までに事務室へ

苦學生へ福音
新しく給費生を募る
石田育英會

京都市内在住の……を基本金とし、學に志しながら金のため勉學を續けるほし、本學々生のうちに……あるが、來年三月には給費を補ひ、更に新學年から若干名世話しやうと……人物の固い立派な學生に……は問はず）以上であること……内佐々木生事補に面談の……

＝經濟學部＝
會費十錢（有信會費未納……）
場は斷られる

＝法學部＝

＝農學部＝

中京方面
就職希望者は

工學部の
特別講演

化學研究所
講演會

獨逸で
功勞章を
授與された
新城元總長

求人

CORONA Model S
劃期的ノ新機構！　小型輕快ノポータブル　而カモ機能ハ大型事務用機ニ匹敵
英、佛、獨、露、各國語　數、化、工學用等
東京銀座　黒澤商店
京都中町　文道堂

新講　日本宗教講座
豫約募集　全廿五回
講題及執筆者
豫約規定
第一回配本
內容見本　全國書店又は本社へ申込次第進呈
發行所　東方書院

ストーブの御用は
京都帝國大學御用達の
八木商店で
電話上二六六一番

カメラ各種　小型活動　在庫豊富　カメラ
わかはや寫眞機店

スマートな御姿は
弊店から！！
青木洋服店
電話上二一一二番

初心者歡迎一ヶ月完成
英國風社交ダンス
京都舞踏研究所

大角蓄音器店へ

社會教育について

野上俊夫

都市公園と國立公園

關口鯉太郎

農村經濟更生計畫への展望

八木芳之助

内外時事

本年論壇大觀

―登場人物を中心に―

杉原勝

「滿洲便り」から（下）

大野久磨夫

就職寫眞　四枚一組　壹圓
焼付・現像・引伸・絵画
岡本寫眞場
農學部前
OKAMOTO

KYOTO SOCIAL DANCE ACADEMY
正則ナル英國風社交ダンス教授
K. S. D. A
京都社交ダンス教授所
久志本寫真器店經營
東大路通神社南・電話(3)5468番
講師：京都舞踊界御協會理事（竹本流家元）（藤蔭流）

謹賀新年
並ニ諸印刷
報恩會
親切本位ノ
上田鮮明堂
吉田下阿達町
電話上四四八二

暗室公開
帝大構内部指定
三菱鉛筆・絵具・材料
其他撮影・焼付・材料
だるま寫眞
吉田近衛角
出張所　三高賣店内

學生乘寫眞
三枚七十錢
集合寫眞
三枚四十二錢
其他撮影・焼付・材料

オヂラ
ビクター
コロムビア
パーロホン
ポリドール
アルファ商會
京都・北白川・農學部前
Music Alpha
蓄音器

有信會第二回學外
全國大會御通知

暫時、無線及其他機關にて付々一方ならぬ御配慮を賜はる事を感謝致居候
追而本會寫眞撮影の儀御申越
日時　昭和八年二月十日午後一時
場所　京都市左京區吉田近衛通友會館
有信會學外全國大會實行委員
會員各位

珈琲とカレー　サンパウロ
河原町四条上ル西側

御禮
軒店創立廿周年記念「正宗祭」開催當日は、天候不良にして終々御來場賜りましたに不拘殊萬端御粗末にして十二分の歓待御意に得ず、何かと不行屆の點がございましたが御寛恕と以て本紙を通じ御禮に代へます
日曜日の夜、火事騒ぎにて、お客様方に大変ご迷惑を掛けましたことを厚く御詫申上げます
昭和八年一月一日
正宗木ール

講義プリント
謄寫印刷
黎明社
電話上四六二三番
振替大阪六四〇六七番

醫學部講義プリント
醫學部ノート筆寫
各學部
フリント社
電話本局一八三三番

歳末百貨の御贈答期に際し
多端を極めし昭和八年も愈年の暮となり二月歳、目出度しと御はる寒さへの御用意、迎春の御支度等に御繁忙の事と存じます
この年末恒例の「百貨御贈答期」に當り、全店を挙げて「百貨歳末大賣出し」の名の下に精選品の特別大賣出を開始致し更に、御贈答品を特選して「歳末本位贈答用品大賣出し」を開催して居ります
歳末の御用命は先づ丸物へ「鳴りますやう」申上げます
京都新前
丸物
◇年内無休◇

酒場スペロー

王座をめざして 十四日早大と決戰

全關西を風靡した吾蹴球

本年度關西學生蹴球リーグ戰において、本學サッカー部はその戰績めざましく、去月二十六日の試合に於て關西決勝戰に勝つて、遂に全勝の記錄を殘し引續き關西の首位を占めたが、なほ關東リーグで優勝した早大軍と、本月十四日明治神宮球場に相まみえ、全日本の首位を爭ふことになつた

籠球部も奮戰して 關西の覇者に

十二戰十勝の好成績を收めて

關西學生籠球聯盟秋季リーグ戰に參戰中の本學籠球部は、去る廿八日の關西聯盟戰に決勝して、十二戰十勝の好成績を收め、關西の一部における首位を確保した、之によつて本年度も引續いて關西の第一位を占め、關東リーグの優勝校と東西學生籠球對抗試合を行ふことになつた

は左記の如き戰績で優勝す

本學 4―1 同志社大
本學 4―1 立命大
本學 4―1 龍谷大
本學 5―0 關大

(B)京都府下卓球リーグ戰は十一月二十六日より一週間三條のYMCAで行はれたが、本學はA、Bの二チーム出場し、第一位、及び第二位を確得す

(C)京都府下新人大會は先月二十九日YMCAで行はれ、本學吉田選手優勝戰に同大山下君を3―2で破つて優勝す

(D)京都學生新人戰は先月同じくYMCAで行はれたが、本學矢木選手、優勝戰に立命大片山君を3―1にて破つて優勝す

第二位 二勝一敗 工學部 (藤井、中屯、高田)
第三位 一勝二敗 廣高クラブ (竹尾、杉浦、宮崎)
第四位 全敗 長華クラブ (宮崎、菊、李)

尚去月行はれた學内個人選手權大會は出場者六十名トーナメント式に依つたが、優勝戰で藥學の河合君、農學部の末澤君を3―1で破つて優勝の榮を得た

近畿チームに選拔さる

陸上部の原田 田島柳井三君

今年度關西インターカレッヂに、關西大學と大接戰を演じて惜しくも第二位に留つた本學陸上部は、其後東京大戰に快勝し、明治神宮競技、京都、神戸兩市對抗競技その他に優秀な成績を殘したが、今回昭和八年度全國時報會において、昭和八年度近畿チーム中に次の諸選手が本學よりピックアップされる事に決定した、明年度を期して一段の飛躍を期待されてゐる關西陸上競技界に氣をはく事になり、やがて來るべきオリムピック制覇計畫への力強い要素として一層の奮闘を望まれてゐる

原田君(走巾跳、二百米、中障碍)
田島君(走巾跳、三段跳)
柳井君(高障碍)

馬術部創立記念 高專馬術大會

雨をおかして盛大に擧行

本紙既報本學馬術部創立第三十周年記念日馬術部主催の第一回全國高專馬術大會は二十六日京大大馬場で擧行せられた當日は雨天にも拘はらず參加廿八校は互に馬術の秘を盡して壯快な障碍跳越に觀衆を魅了した、高專對校競技の結果は

1 同志社大學豫科
2 京都府立醫大豫科
3 名古屋高商

であつた、次いで大學個人對抗競技は神戸商大の小田敏君が一等入賞、二等は立命館大學の竹尾君となつた、其の他來賓の馬場馬術等あり、雨中にもかゝはらず可成りの盛大振りであつた

卓球部 活躍目覺し

(A)京都學生卓球聯盟第一部秋季リーグ戰は去る十日終了したが、本學 優勝・三勝〇敗 廣高クラブ

學内卓球大會

廣高チーム優勝す

卓球部主催の第一回學内卓球大會は十二月二日午後一時から學生集會所に於て擧行されたが、參加十八チームの多數を得、これを四組に分ち各々リーグ戰を行つたが、A組では優勝候補農學部A破れて優勝す 廣高優勝、B組は廣高、C組は工學部、D組は長華クラブが各々優勝しこの四チームが決勝リーグ戰を行つた所左記戰績で廣高チーム優勝す

本學ラグビー 同大に敗退す

後半の追擊奏效せず

關西の首位を決すべき本學對同大ラグビー戰は、去る三日午後三時より花園球場で行はれたが、本學の健闘奏功せず、前半二―七―〇、後半一四―一〇で敗退した、概況左の通り(レフエリー別所氏)

正三時本學の先蹴にて試合開始同大フリーキックを得て左隅になだれ込む中二十五ヤード線上のフリーキックをプレースして三點を先得し、よく球を得て十一分右隅よりスクラムサイドを拔いてトライしたのを始め、十六分、廿一分、廿五分と續いて左隅より攻めてトライ、三十分左隅に三十四分左隅のスクラム中央三十五ヤードのルーズよりを通してトライし、廿七點をリードしたのに對し、本學出足にぶく、チャンスを作り得ずして前半を終る、後半に入るや本學奮起して、中央より左二十ヤードへバックが突込んで攻め立てるも同大中央に返し、五分本學側の反則を同大フリーキックして左隅に突進トライと成る、此頃より試合は俄然スピードを增し中央線上一進一退のうち十二分本學のバック自陣廿五ヤード左寄りのルーズをパスし、伊地知君受けて長驅五十ヤード、ゴールライン寸前にタックルされフオローした小川君球をおさへて最初のトライ、ゴールとなり其後TBパスに同大右陣に攻入るもチャンスを逸し、十八分同大ハーフ中央より拔いてポスト直下に二トライし、二十五分同大、フルバック握つた球を自陣三十ヤードより獨走してバックに渡し右寄りにトライ、本學追擊猛烈なりしも同大フルバックの好守に返され廿九分島本君の好走あるもチャンスを逸し、中央で揉み合ふ中三十一分中央左のラインアウトを拔き中央に殺到しておさへてトライ、ゴールして二ゴールを返すも、其後本學苦戰となり三十四分左隅に攻め立てたのを同大中央右に返しドリブルで右寄りにトライし續いて卅五分中央よりバックス右に廻してトライしタイムアップとなる

高校別で野球大會

岡崎で開催中

學友會野球部の主催で、高校部の軟式野球大會が四日から岡崎公園グラウンドで行はれてゐるが、參加高校十七に及び非常に興味を呼んでゐる、プログラムは左の通り

四日(月)Aグラウンド
12時 a (1山口 2高知)
12時半 c (5七高 6學習院)
Bグラウンド
12時 b (3佐賀 4新潟)
12時半 d (7松本 8福岡)

五日(火)Aグラウンド
12時 e (9六高 10三高)
12時半 g (13五高 14姫路)
Bグラウンド
12時 f (11松江 12弘前)
12時半 h (15靜岡 16大阪)

六日(水)Aグラウンド
12時 A (aノ勝者 富山)
2時半 C (Dノ勝者 eノ勝者)
Bグラウンド
12時 B (bノ勝者 cノ勝者)
2時半 D (gノ勝者 fノ勝者)

七日(木)
12時 E (Aノ勝者 hノ勝者)

八日(金)
12時 (Bノ勝者 Cノ勝者)
2時半 (Dノ勝者 Eノ勝者)

九日(土)
二時ヨリ優勝戰ヲ行フ

ラグビー部 創立記念祝賀

京大ラグビー部創立十周年祝賀會は十一月廿六日午後六時樂友會館で開催、末廣部長、先輩、部員等五十餘名出席、懷舊談に花をさかせ十六ミリ映畫を鑑賞して八時散會したが、同午後三時からは農大グラウンドで京大對學士ラガーの試合を行つた、成績左の如し

京大 25―9 學士

スキーの合宿は 二十一日から赤倉で

スキー部では例年の通り赤倉に於けるスキー合宿を十二月廿一日から開始する事に決定した、希望者は學友會事務室又は直接旅行部室へ申込まれたいとの事である

ゲーテ協會 本年度大會

日本ゲーテ協會本年度大會は去る三日(日)樂友會館において左記の如く講演と音樂演劇の盛澤山なプログラムで濟募本學を辭去した

阪大總長 來學

十一月二十四日午後二時半頃阪大總長長岡半太郎博士は事務官を同伴して來學、松井總長、岸書記官に面談した、これは長岡博士が阪大總長就任以來最初の本學訪問で、本學への挨拶のためと見られてゐる、なほ同博士は後理學部、花山天文臺等を視察し、薄暮本學を辭去した

寮の總務改選

八年度後期の寄宿舍總務は十一月二十二日改選の結果、左記三君が當選した

▽南寮 黑川 雅一(醫)
▽中寮 一本杉 豐(法)
▽北寮 米島 三郎(法)

右三君の任期は明年五月までで、明春卒業する寮生の補缺入舍を決定する所謂面會總務として、重大な任務をもつものである

寄宿舍生規約 その他確立

寄宿では明治三十九年の總長告示以外、別にとり立ていふ程の規則はなく、萬事不文律で自治生活を營んで來たのであるが、先般來これを成文とする相談が持ちあがり總務を中心に、これが制定に努力中、寮生大會の決議を經て、昨四日舍生規約等を決定した

百二十の寮生から大いに期待されてゐる

非常時學内 射擊大會

十一月十九日(日)京都射擊場で盛大に擧行せられた射擊部主催の學内射擊大會に出場二十等以内に入賞せる者左記の如し(同部では入賞者は本月中頃記念將校室に賞品を受け取に行く樣話つてゐた)

山口國治君(經)津川善市君(法)
阪田秀信君(文)近藤憲一君(醫)
宮崎定孝君(經)河野勝也君(工)
中田辭雄君(法)前谷香君(理)川村進君(工)

本學から二百名 アイス・スケート協會へ入會す

河原町三條に開かれたアイス・スケート協會は實にすばらしい人氣で開所したが、會員も相當に多數であり本學々生で申込んだ者が既に二百名を超えたので、今後會員になりたい人は學友會事務室に申込まれたいと言ふ、(尚本學から申込めば團體として取扱はれ年額一圓五十錢であるが個人で申込めば年額四圓五十錢となる由である、ちなみに協會員は滑費も二割引である

寄宿舍自炊確立 三周年のまつり

八日夜學生集會所で開催

本學學生寄宿舍では、自炊制度を確立して今年で三周年になるので、來る八日午後六時から、學生集會所で、松井總長をはじめ各關係者を招待して盛大に記念祭を催すこととなり、目下準備に忙殺されてゐるが、各寮別に苦心考案した呼びものの餘興は果して何が出るか

プログラムで盛大に催された

第一部 講演 午後一時

ゲーテにおける藝術、風術、宗教の關係

地理學談話會

大每會館で公開講演

京大文學部史學科地理學談話會は從來の學内の研究發表を街頭に進出せしめ去る二日(土)午後三時より大每會館に於て公開講演を行つた、プログラム左の如し

開會の辭 本學教授 石橋五郎氏

アフリカの一齣 本學助教授 小牧實繁氏

我が南洋諸島に就いて 高津中學教諭 島之夫氏

滿洲國と植民地理 彥根高商教授 田中秀作氏

ハンブルヒの港、ラインの春其他二卷(映畫) ヨルン・レオ氏

講演終了後矢尾政で懇親晚餐會を開いた、席上大垣商業教諭松山敬次郎氏の緯度輪中に關する研究發表があつた

農學部四明會の 新幹事と委員

四明會來年度の幹事と委員は、去る廿一、二兩日の選擧によつて左の如く決定した

幹事 端經部部長田敬教授、競技部木原教授、球技部志方教授、庶務部黑正教授▲委員 農業科竹内吉郎、藤井利重、林學科藤井

東北帝大助教授 奧津彥重氏 Zwischen Klassik und Romantik

大阪高校講師 ローベルト・シンチンゲル氏 ゲーテと繪畫

本學講師 雪山俊夫氏 Goethe als Bleibender in der Umwertung der deutschen Literatur

第二部音樂と演劇 午後七時

東大講師エルウイン・ヤーン氏 グルック「イフイゲーニエ」序曲 モーツアルト「セレナーデ」

京大交響樂團

シユニツツレル「別れの晚餐」(演出 谷内 顯)

Schnitzler-Szene aus Goethes Faust (Regie: Dr. Anna Kiura)

Mephisto (in Fausts langem Kleid) B. Rinkenstein

Schüler T. Matsuhima

國史學科の 古文書實習

文學部國史學科では本年度に入つて古文書の實習を授けてゐたが、去月二十五日から中村助教授引率のもとに之を復活し、今後毎土曜日に之を行ふ事になつた、先づ初回は之を上賀茂神社に行ひ、法學部小早川講師、國史副手以下出席者三十有餘名を數へ、多大の效果を收めたが更に第二回には西賀茂正傳寺を撰び之又前に劣らぬ盛況であつた

正誤

本紙既報の京都アイススケート協會の記事中同會入會に關する費用につき誤りありたるにより訂正す、即ち月賃一圓五拾錢と書きたるは誤りにして年額一圓五拾錢を納入する規定であると

法學部有信會 土曜日の催し

法學部では次の如く御所前に西本願寺の寶物拜觀をする

▽日時 九日(土)午後
▽人員 九十名(三回生歡迎)
▽會費 不要(電車賃各自負擔)
▽集合 午後一時堺町御門前

當日は近藤助教授が引率して行かれるがこの催しは思想善導の崇のためであるといふ

雜誌

▼理想(十二月號)新宗教か非宗教か、其社・五十錢▼セルパン(十二月號)第一書房・十錢▼文化集團(十二月號)其社三十五錢▼經濟(十二月號)其社二十錢▼國民精神文化研究所々報(第二號)其所・非賣品▼京大俳句(十二月號)其社・廿六錢

廣告

津上氏今年も「髮」を寄贈

醫學部醫院に

帝展出品中の津上昌平氏の彫刻「髮」は今回本學醫學部附屬醫院に寄贈されることになり、去年同氏作「とし子」寄贈されて今回は二回目であるが建築完成の曉は本館に陳列される(寫眞は髮)

大學の歌を八日發表

來る十二月八日午後三時半から法經第一教室で學友會募集の當選校歌の發表式を左の通り擧行する

1、會長挨拶 松井 總長
2、經過報告 大野學務幹事
3、選者の挨拶 新村 教授
4、校歌三唱 合唱團指導

法學部有信會の 新委員決定す

有信會には必ず新委員を加へて活動力を新たにする法學部有信會では先般の事件のためすべての事業を中止してゐたが學內平穩に歸すると共におくればせながら活動を開始し、一回生から左記新委員の決定を見、こゝに全く陣容を整備するにいたつた

有本の歳暮破格大賣出し

十二月五日より 十一日まで

本格的寒さへの御用意、迎春の御準備の爲、有本は本年掉尾の奉仕をさせて頂きます 有本好みの良品を徹底した値下げをして皆樣のお越しをお待ち申して居ります

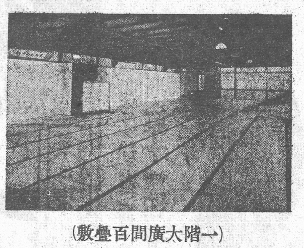
破格提供品

(オーバ) ¥10.00 ¥20.00 ¥28.00 ¥35.00

(セビロ) ¥35.00 ¥40.00 ¥45.00 ¥50.00

帝大北門前

御宴會は是非とも共樂館へ

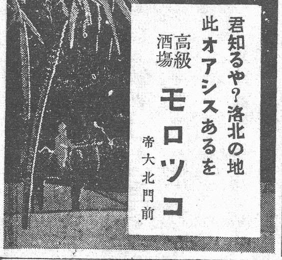


(一階大廣間百疊敷)

會席御料理(御一客) 一、五〇……七品 二、〇〇……八品 二、五〇……九品

共樂館

本店・四條大橋西詰北入る 電本一三九番・一四〇番



君知るや? 洛北の地 此オアシスあるを

高級酒場 モロツコ

帝大北門前

ホンローバー レコード着荷

ファン待望の名曲盤愈々到着 關西には無き名曲揃ひ!!

◎交響樂 ◎器樂 ◎聲樂 ◎ダンスレコード ◎流行唄其他多數入荷

京都市三條通河原町西入 ミヤコ蓄音器部 電話本局四五二二

ローラースケート

銀閣寺電停東北半丁 白川スケート場

貸室 申込歡迎 案内書贈呈

暖房 溫水暖房工事

電鈴 各種電鈴裝置

完成

京都市大學總合前 京都アパートメント株式會社 電話上四四八八番

洋樂レコードの御整理は理解あるクレモナへ!!

當店は專ら洋樂高級ファン諸兄の御利用機關として常に皆樣の御滿足を得るべく努力致して居ります御不用レコードに就てはどし〱御相談下さい 御報次第參上致します

洋樂專門 セコンドハンド レコード店 クレモナ

京都河原町荒神口 (電上一〇二三)

小山齒科醫院

醫學博士 小山正光

電話上五八二番

御送金の御指定は…… 研究費の御保管は…… 學園に最も近き當店へ……

株式會社 安田銀行 出町支店

京都市上京區河原町通今出川角 電話上(3)二六〇八番 振替口座大阪二五三九二番

十二月號 國家試驗 第三百廿六號 定價金五十錢 送料二錢

◇無擔保裏書、禁轉裏書……大審院部長 菰淵清雄
◇一問一答信託法新解說(各論)……法學士 中山榮太郎
◇帝國憲法講話(十)……明大專修大講師 野村信孝
◇工業所有權法
◇權利濫用に關する立法、學說……東京裁判所判事 廣瀨松夫
◇ブロック經濟論(完)……商工省貿易局 野間繁
◇經濟重要問題解說……國家試驗編輯部 德永久次
◇戰時國際公法答案構成要領……島津嘉孝
◇重要新民事判例紹介……國家試驗編輯部
◇出世漫談…滿洲國官吏の卷……蝶花樓牛樂
◇昭和八年五十二號口述ありのまゝ記……三宅仙太郎
◇愚鈍な受驗生の體驗……HW生
◇口述試驗問答……瓢生
◇時事問題解說◇答案練習問題
試驗時報◇誌友の天地等……(見本十錢)

東京市本鄉區森川町 帝大正門前 育成洞 電話小石川七八一二番 振替東京一七三二番

碁會員募集

初心者 一ヶ月六拾錢
A級 一ヶ月壹圓

北白川電停北入 棋友會

噛みしめて又かみしめて味の出る氣樂な店は此店で御座る

百萬遍電停北入 風流おでん 洛東軒

京大共濟部指定

歐米漫遊と海外留學の洋服はロンドンスタイルの長屋

寺町丸太町南 電上一五七〇番

經濟史研究 十二月號 定價五十錢

▼濟田藩株市組の人口に就て……原傳
▼株仲間の獨占機能……宮本又次
▼サン・ガル市強制火災保險制度の成立……平田隆夫
▼獨逸經濟史概說……柚木重三
▼德川時代の市に就いて……木村增二
▼德川時代土地永代賣買の史料……木下止
▼若山儀一の著書について……大山敷太郎
▼彙報
▼最近の經濟史學界
本誌第四十六號乃至第五十號總目錄……本誌御希望の方は定價金五十錢を添へ日本經濟史研究所(京都市左京區北白川追分町一〇)宛御申込み下さい

東京・京橋區 京橋三丁目 日本評論社

フイチン

神經衰弱治療劑

第十四回帝展評

帝展の洋畫を京都に觀て

須田國太郎

本年から帝展を新美術館の光の裡で鑑賞し得ることは實に幸福なことである、特に洋畫の爲めにはこの和かな光線を待ちわびたのであつた、然し出品畫そのものからは遂に何等新たなる光輝を見出さなかつた。帝展に優れたものはアカデミックの作品だとは皆さう信じてゐたところだが、先づ第壹室に入つて初めて見る保田善作氏の「日曜畫室」程度のものですら、第五室の小磯良平氏の「午後の客」に至るまでは見當らないではないか、又帝展には

大作そろひで 其貫祿を示し

してゐると云ふが、果してこれに副ふ力作が幾枚あるか、大さの隨一たる、第一室の橋本八百二氏の「馬市」にしても肝心の馬の描寫がすでにいゝ加減なものだ中景の白馬の胸のあたり、最後の部屋の上野山清貢氏の「女紅場風景」の如きは薄弱の基礎この大畫面を支へることすら不可能に思はれる、猪熊弦一郎氏の「畫室」佐方眞氏の同じく「畫室」等これに類するものは最も多いが平板空疎な構圖に不滿の始末に惡いものはない。この方面の研究を深めてゐない事は或る意味で我洋畫の最大缺陷である、最も技術を具へると思はれる審査員

田邊至氏にも いつも此破綻

がある、今回のは小品であるがなほその不備を免れない、もういつまでも個々の人體描寫に囚はれてゐるべきでないと思ふ、第三室は正に審査員の特別室の觀がある、全く空氣は澱つて靜かだ、ほつと一息つけるが又寂しくない事も無い、期待した藤島氏は見當らなかつたが中澤弘光氏の「更くる夜」は近來の出來だし滿谷國四郎氏の「放牧」も親しめる氣品をもつてゐる、中には氣の毒な精養への猶はれるのもあつたが最も腹立たしく感ぜられたのはいつもながら無鑑査級の不振だ、推薦特選は彼等には製作の自由を與へる代りに怠惰と退歩とを促進してゐる

鞭打なければ 動けない人々

であつた、第五、六室あたりは所謂新帝展型を具へた中堅級が並んでゐる、堅實な小磯良平氏、豐滿なそして少し甘い寺内萬次郎氏等高間惣七氏は今年はやゝ散漫に模索し中野和高氏も其緑色にある不安が伴ふ、大久保作次郎氏は例年の如くサアルールに乏しいマネキン振りを發揮するが一種の眼さは添へてゐる、矢島堅士氏の作風もいつしか帝展中の一つの勢力になりつゝあることを感じた只氣裏にかけてゐる事が惜しまれる、しかし一方他展の系統に屬すべく思はれるのもある、都會風景の多く及び卓上靜物にもこれが散見する題材的には東洋畫ことに日本風を目企するものがやゝ增して來た、牧野虎雄氏の「麥秋」鈴木清一氏の「みなかみの春」、牧野司郎氏の「佛像」等それであるが牧野氏の態度が一番贊意を表し得る、時節柄か

中華民國的の 主題をもつた

ものも出てゐるが推賞に價するものはなかつた、又イデオロギー的のもの、殆んど影をひそめたのも時勢だらふ、只その脂色の畫風のみは甚だ盛況を見せてゐた、終りに階下第十一、十二室は最も野心的な作品に充されてゐる、熊岡美彦氏の「萄」伊原宇三郎氏の「トーキー撮影」中村研一氏の「海邊にて」等はその代表的のものである、事實帝展の主動力になるものかもしれない、他の一般出品者は帝展が一人一點主義である爲その一點を以ては常に作品を示し得る人々と同等の公平さによつて對し得ないが出來る限り無名作家の珠玉を求めたが遂に無効に終つたなる程いゝ味をもつた小品は無いではない、又さう云つたものはつかれた

審査員の眼を 樂しませたで

あらふ、然しそれはあまりにもスケッチ的一時的のものが多い、數千點の公募中よりの結果は只これだけなのかしら、若や落ちたものの中にもと云ふ未練の殘るのは、これは審査を疑ふのではなくして日本洋畫の名譽の爲にでもあるやうに思はれる。

(カットは帝展出品平岡權八郎氏の「ショウル」と、菊地隆志氏の「ミシンと少女」)

日本畫の印象

園頼三

印象を明確にするため 私は試みに作の畫面の似よりを探して歩かうと思ふ。さうして見附かつたものを對にして比較し對照してみよう、するとそのことが自から作品の解明になるであらうことを望めるかもしれないから

風景畫に就て 第一室で早速

その手掛りを與へて呉れたものがある。高木(宇多野路)と川部(薫風)である。直面に平行せる一本道が少し坂になつてゐる。竹藪の前を牛が行く。村童が乘つてゐる。高木の作は、要(秋意人林)によき仲間を見出す。要のも地面が坂で低部に牛が靜止して、コローにでもありさうな樹立と蔭ばんだ葉、高木のは前景に色づいた秋の葉、こんなわけで二人の新進から生々した自然の情趣を別々に掬めよう。川部とよき一對は、松永(六月頃)だ。前者の樹枝や樹間の錯綜せる畫面を吹く風が、馬車や人で一層その感じを強める。後者では雨木を透けて

靜かな水田が 仄かに浮上る

動と靜、颯爽と平明、共に感觸の裕かさがある。水田のでは齋藤の「冬」は、これに連り周匝な用意のもとに物象を的確に描き季節を充分に感覺させる。この作にある牛は、高木や要のと較べてみるといゝ。吹田の「御苑早春」は、女學生風俗と心理を入れて樹立や圍き芝に淡い情趣を漂はしてゐる。山内(瑜伽神社)は土塀と道の線のうねりで巧に奥行きを捉へ松の樹立にもそれを取入れて鋭敏な畫面を作つてゐる。村島(潮音)の色彩、寺島(桐咲く岡)の寫實、夫々持味がある。玉堂の「深秋」は平板の裏に滋味が掬取れる。

さて人物畫、これは帝展の花かも知れぬ。その中で、華やかさはないが見落せないのは安本「緑庭」だ。大原女の安定的な坐姿で「洛北の佳人」(谷角)と一對をなすものだが、同じ横線の平行畫因で池、庭石、芝などを深みある靜けさの中に統制する具合は、一段上であらう。三谷(朝)は人物畫の隨一とする。

案山子の恰好 で少女が足を

重ねて立つといふのが、如何にも實感を捉へたものだが、構圖上、その硬く振向けた横顏の視線が左下に踊る小兎と結ぶ一線が、後頭部の稍數匹の東等と結ぶ數個の線を何と張切つた均衡の裡におくことか。色彩の上で、着衣の縞柄の色合が下駄に反復された上この濃暖色が小さな一本の青花でぐつと引締められてゐる。構圖に活かされた畫面は實に明晰雄辯に語るものだ。麥僊が「平牀」で着衣肢體を總て線條化した上で二人の人物に見事な彫塑性を與へてゐる手際は遺だと思ふ。何といふ典雅さと落着きであらう。その佇む女と牀の女とが形づくる三角構圖は誰にも直ぐ氣付く。この同構圖が今年は「大三郎」と粲本武雄「」との

同じ畫因の髮 に向けられて

あるのは興深い。前者のが向ひ合ひ、後者のは背を向け、一は白晝他は夕暮、都會女と田舍女、前者の明朗、近代性、後者の野趣。自然性、互ひに相對する。前者は感覺的にパッと綺麗だが餘韻がない後者のは背景の作用も加はり仄かに餘韻を湛へてゐる。序に洋畫の寺内や彫刻の津上の髮を比較するのも又一興であらう。海に關する女では翠村と翠山、何れも華かなもの、通俗と見せかけの綺麗さを誇るかのよう。後者は人物の組合せを動姿に於て勝る。二作に對し秀峯のパラソルの「蔭に憩ふ」は先づその着想の上で、人物の姿正衣の形色合やその他全體の上で圖案的な好もしい近代的色感や趣味性を撒らし此種作品を代辯してゐる。日本女性の洋裝

今年の帝展に 目立つ現象だ

一洋の「朝風」と勝田の「朝」前者は背景の方が人物より出來がよく、後者はその反對である。勝田の臥す女は洋畫品を日本畫で立派に効果を上げてゐる。同じ事を菊地(ミシン)や高岡(小憩)も成功してゐる。特徴ある人物畫では福田(火鉢)、上村(金魚)を見逃せない最後に花鳥畫では、福田(秋田犬)の充實せる畫面活寫「池心洋々」(森)の水草を巡つて泳ぐ魚の形作る圓錐形に水中の別天地が躍如たる心地がする。鶏を扱つた山本紅雲と荒木十畝、後者の灯の下の深い墨色の水面より浮出る同色の鶏、その青い眼——これなぞ特に印象深いものの一つであらう。

富士(三) 太田喜二郎

陶磁

長崎太郎

新しい社會生活に理解のない陶磁作家が新しい陶磁工藝の形態を求めてとまどひして居る樣が第一に目につく。次に陶磁にはどこ迄も陶磁でなくては出せない味を出してもらひたいと思ふ。陶磁器の本質としては土なり、ロクロなり釉なり、窯あがりなりが第一に考へらるべきで、末期的な繪つけや

神經衰弱的な 形をあれこれ

といくら工夫した所で、出來上つたものは見るにたへない。又日本陶磁してユニイクなものを創り出す爲には、今少し日本陶磁の傳統やそれら陶磁の生みの苦しみをも考へ直して見る事が必要であらう帝展の出品には陶磁の本道を踏みはづしてゐる不健全なものが可なり多い。

個々の出品に就いて強ひて書いて見るなれば、審査員清水六兵衛氏の魚鱗天目茶盌は、なる程うまい味はあるが、少々あつけない。伊東陶山氏梅花文樣花瓶はうまくにげられたナと思はれる樣なもの、——あらい土をつかつて釉に重味をもたせた處、黒釉の流し具合

紅梅の色繪の つけかたなど

手なれた仕事で、どつしりした作柄である。何も之を仁清と比較して云々しなくともよろしい。帝目身が「これは栗田のなにがしで御座る」とすましてゐる處に氣取らぬ態度が見られる。楠部彌一氏の自ら新古典藝術と銘うつて居る特選青華瓜文菱口花瓶、作者は花瓶そのものも中々おしが強い。何しろ、よいもの、よい處を盛澤山に集めて、これでもか、これでもかと云つた感がある。勿論ガッチリした努力の作で、帝展の特選には價しよう。然し體に比して兩耳の弱いのと、地につく足許のあたりが少し不確かで體が一寸傾いて見ゐるのが難であらう。之と對して、同じく特選伊東信助氏陶製色繪

八重葎文化瓶 は面白い對照

をなす。靜安で淡々たる中に氣品のある處が此の壺の生命であらう牛地、カンニウも美しいし、上繪つけも無難である。糸の樣な銀の三日月でも壺の下の方にかゝつて居たならばと思ふあまい人もあるかも知れない。近藤悠三君は個性のはつきりした帝展では異色のある作家であるが、此の朝顏繪呉須壺は、同君のものとしては上乘のものとは云はれぬ。口のあたりも御粗末で壺全體がいぢけて見ゐる今一層健全な力強い作を見せてもらひたい。實力のある作家で河村蜻山氏の瑠璃磁群鶴圖花瓶は見逃し難い作品ではあるが、カマあがりが悪いのと

形が大き過ぎ しまりの無い

點に遺憾がある。群鶴の圖はよく出來て居る。口と足のあたりに申分がないであらうか。澤山宗山氏の蒲萄紋花瓶は新鮮な味を出さんとして居るが、胸のすく樣なものではない。清水正太郎氏の磁製煖爐前立は無表情の京美人がモダーンの洋裝をした形。長谷川想氏の陶製アフリカ象置物の釉は美しい河合榮之助氏の釉裏紅は無邪氣で無難。森野嘉光氏の太白磁は何となくもの足らず、舌足らず。河村京太郎氏の果實セットは珍らしく實用を目ざして居るが、神經をいらだたせ、淺見五郎助氏の柘榴紋は紋樣がうるさくて重みが無く

米澤蘇峰氏の 染付盒は技術

の上でとりにくいものであつたかも知れないが、染付とは思はれず手のこんだものだが、形もよいものとは云はれまい。石野、酒井、戸出、栖本の石川縣の一黨は古九谷の傳統を忘れて安價なモダーンの味を發揮して居る。と云つて石橋龍山氏の海藻の樣になつては近代人にはピンと來まい。井野榮造君の磁製染付柏模樣花瓶は染付の技術の點から面白いと思ふ。其他見來ればあつても無くてもよい樣なものが可なりに多い。

放言の罪

櫻田義人

高樓の一番上の部屋に私は閉ぢ込められてゐた。番人は私に言ひ渡した。「この部屋を一歩も出てはならぬ(詩が一番大事だ)と放言したお前は、此處を立ち去る事はならぬ。唯、東の窓を開けて下界を瞰下すだけは赦してあげよう……」

ああ、今年になつてはじめて秋の清酒に醉つた私が「詩だ、詩だ詩が生命だ、詩の外になにもない……」と叫んだのを、神は憐み聽いて、たうとう此處へ幽閉してしまつたのだ。私は今までにも「詩か」と心に思ひ、それを口に出しかけてはひつこめ、又出しかけてはひつこめしたものだが、清酒の誘惑に陷つてたうとう今日放言してしまつた。

この放言の罪に對する罰金を、私は生涯この空中の樓閣で支拂ふのだ……

岡田氏新譯 プラトン ▼……全集を讀む

土田杏村

岡田氏の名を知つたのは、名譯「詩經」を讀んだ以後のことだ。多分私はそれよりもずつと以前、もう十年以前になると思ふが「詩經」の現代譯に努力して來てゐる人を知つてゐる。專門は漢文であり、註譯書なども遺憾なくあつめて仕事をやつてゐるし、その譯詩も中々巧妙なものであつたから、私なども切にその完成を希つてゐたのであるが、岡田氏の譯の方が一足先きに出て了つたのでこの人は大分氣の毒な思ひをした。併し岡田氏の譯が出て見ると、その譯詩の巧妙さは何ともいへず、一唱三歎すべき名詩がずつと引き續いてゐる。哲學を專門にしてゐる人の中にこの恐るべき技巧力を持つた人のあることに私は先づ驚歎し、同時に私はさきの一知友の同事業が平行して進められてゐるに拘らず、かうした名譯の現れたことを慶賀しなければならなかつた。

次に讀んだのは氏の「漢文音讀論」である。漢文を棒讀みにせよといふ論は至極合理的であり、何の異もないことだが、この書はどうして、讀んで行くと漢文法に就て獨創的な突き込み方を至るところでやつてゐる。私はたゞ教へられつゝその書を讀了した。紙數は少いが、堂々たる大著といはるべきである。今度は私は岡田氏の精細獨創的な分析力に驚歎しなければならなかつた。

岡田氏はいよいよ專門のギリシヤ哲學の仕事にかゝり、プラトン全集の譯本を世に送り始めたが、メノン篇、カリミデス篇、ゴルギアス篇と、その速力もまた大したものだ。「詩經」で示された譯文の技巧力と、「漢文音讀論」とで示された獨創的な分析力とが、ここでは綜合的に發揮せられたのだから、その譯文の悪からう筈はない。何處までも原文に對し忠實にならうとする努力は何れの行間にもよく感ぜられるが、また哲學書がこれだけの自由さで、一讀して直ぐに意味のわかる文章で、藝術味豐かに譯されたのは全く珍らしいことだ。就中私の敬服したことは、一々の對話が劇の言葉のやうに容易に進められて行き、對話取り交はしの語氣が讀者によく感ぜられることである。プラトンは單に哲學の書ではなく、同時に文藝の書でもあるが、今や完全に全面的にプラトンとして讀まるべき名譯が世に送られたのである。(それより以前に現はれたプラトン全集の價値を私は低いといつてゐるのではない。それには又それの努力も價値もある)既刊の各篇何れも内容紹介の要なきまでに世に知られた名篇、近頃雜誌などで流行してゐる「對話」を讀む氣樂さで讀んでいつて、その得るところは多大であらう。(第一書房發行)

「京大俳句」抄

▽ 瘋癲狂が隱れて旗ふる街は秋 平畑靜塔

▽ 月は街燈の女工はオルガンを
秋うらゝ淀川蒸汽はかどらぬ 寺野保人

▽ ゆき暮れて秋の蛍に興もなく
紅葉書く少年の顏陽にありぬ 太田蟬郎

▽ 紅葉書く少年ひさし眼深にす
朝露の門の裙生に牛乳の壜 中村三山

▽ 牛乳溫き露の門とりし手に
秋の日は早し柿もぐいとまなど 瀬戸口鹿影

▽ 落葉ふむ秋の日ざしの殘るかな
久に來て御苑は秋の盛りなる 乙部寂水

▽ 公園や柿木のなかの大通り
すゝき野を交と來る娘の脚細く 藤後左右

▽ 月大きければ帽子に飾りける 山内水鳥

▽ 月明や早瀬の波は洲をめぐる
灯をともす火見櫓も秋まつり 野平椎霞

▽ 屢の上の帆柱みなと祭りかな
夜は山にみなと祭りの錨かく 吉田魚遊

▽ 夜の霧に軒燈ときれ又つゞき
影のごと現れし人消ゆ霧の街

銀沙灘 都富士 鼈甲燒 其の他季節御進物用菓種々取揃へて御座います 階上は御集會に御利用願上ます 御菓子とお茶の 百萬遍 かぎ政秋 電上一七二四

處方調劑 新藥各種 體溫計類 熊野電停前 東山藥局 電上三一四〇

學生生活三年 實ニ住心地良キ 價格低廉 最高級下宿 アパートニシテアパートニ非ズ家庭味百二十パーセント 淨土寺馬場町一五六 西川政治郎 電上三〇四四

喫茶菓子 十美 ●御休憩に御利用下さい ●御友人の御待合せ● 京・河原町四條上ル東側

はきもの 自家製造 谷川商店 今出川通川端東入

藥は東山 熊野電停前 電上三一四〇

今井洋服店 京都市河原町丸太町上ル 1934

アツシユな 美術寫眞は 松本寫場 丸太町通川端東入 電上5462番

京都 清交社グリル 四條小橋西詰南 好評を博せる新時代の明朗サービス

脚氣藥 ベーカ 西村米店

例年お待ち兼の新春の御準備に 第十一回 禮服大奉仕發表 十二月一日ヨリ十五日マデ
モーニング(三ツ揃) A¥48.00 B¥55.00 C¥58.00
タキシード(三ツ揃) A¥50.00 B¥55.00 C¥60.00
ロンドンスタイル 合名會社 長屋洋服店 本店 寺町丸太町南 電話上 四六三番 五七四四番 支店 婦人子供服店 出張所 下鴨上河原町

性病科 皮膚科 泌尿器科 理学療法科 阿部醫院 烏丸四條下ル一筋目東入北側 阿部正晋

寫眞の御用は裏門佐伯へ

BILLIARDS 満月開店す ローテーション設備・新式設備完成 十二月三日より 熊野神社電停東入

新装開店 御願申します 何卒倍舊の御引立の程 に移轉致しました 舊店舗は狭隘の爲下記 有御厚禮申上げます 弊店毎々御引立に預り 京大御用達 若葉屋洋服店 農大正門前 電上(3)六六三三番

CHRISTMAS CARDS & PRESENTS (FROM 10.SEN UPWARD) KYOBUNKAN KYOTO. BRANCH KAWARAMACHI MARUTAMACHI TEL. KAMI 4056.

インテリ向き有利な 獨占事業を讓る 法・經・文卒業生に最好適
▽法・經・文卒業生の事業として最も適當
▽資金一萬圓を要す
▽讓渡後一ケ月間は無料にて現經營者事業を指導し、後顧の憂ひなからしむ
▽希望者は烏丸通り京都日日新聞社早瀬讓宛照會を乞ふ

清澄・明朗 1934年型ソフト 青年紳士向特別奉仕品
東京帽子 二・二〇 七・五〇 帝國製帽 二・二〇 八・〇〇 エベレスト 六・五〇 ウィルソン 八・〇〇 ロバート 九・〇〇
京大共濟部指定 マルニ帽子店 京都店 東山通熊野神社上ル 伏見店 下油掛町納屋町西入

新春の禮服特別大奉仕 モーニング・タキシード
技術界の最高峰をゆく堅實主義によつて皆樣に絶大の好評を蒙つて居ります・特に禮服は弊店技術部の優秀部員の手により御調製致して居ります ―ぜひ御用命を―
英國佛國直輸入 ツバメヤ 西所東山線停留所一條東 電上2057